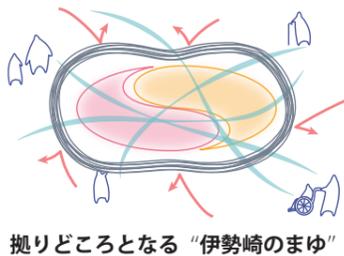


健康と子育ての拠りどころとなる「伊勢崎のまゆ」 —伊勢崎の人々をつむぐ—

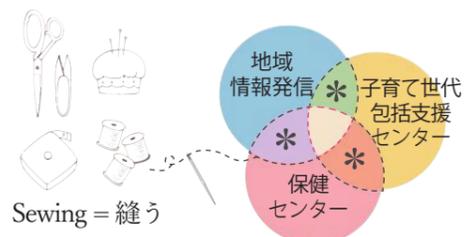
伊勢崎市は、「まゆ」からつむぎ出された織物で発展した歴史があります。養蚕はこの街にとって象徴的な存在であり、「まゆ」の持つさまざまな機能をこの建築に織りこむことで、伊勢崎らしく、かつ市民が生き生きと暮らすためのサポートができる新たな拠点となることを目指します。
 「まゆ」がフィルターとなりプライバシーを守りつつ、人と人の風通しが良く、多様な交流を生み出しさまざまな不安を抱えた人を迎え入れ、包み込みます。



拠りどころとなる「伊勢崎のまゆ」

「ソーイングコミュニティ」～異なる様々な世代・目的・機能をつむぎ合い、包み込む～

新施設の機能として、保健センター機能、子育て支援機能に加えて、地域情報発信機能が重要になると考え、この3つの異なる機能を1つにつむぎ縫い合わせることで、今までになかったあらゆる世代の交流や活動「ソーイングコミュニティ」が生まれます。ソーイングコミュニティが情報発信の場となり、訪れた人々の不安を解消し、安心して日常生活を過ごせることで、「楽しく子育て健康生き生き空間」を達成できると考えます。



3つの「ソーイングコミュニティ」

- ＊ 地域の子育て事情を把握、多世代の交流
- ＊ セミナーへの参加、感染状況の把握
- ＊ 子供の成長に関する情報収集 (切れ目のない母子保健サービス)

コミュニティの核
「ソーイングホール」

02 この地と共に育む建築の姿

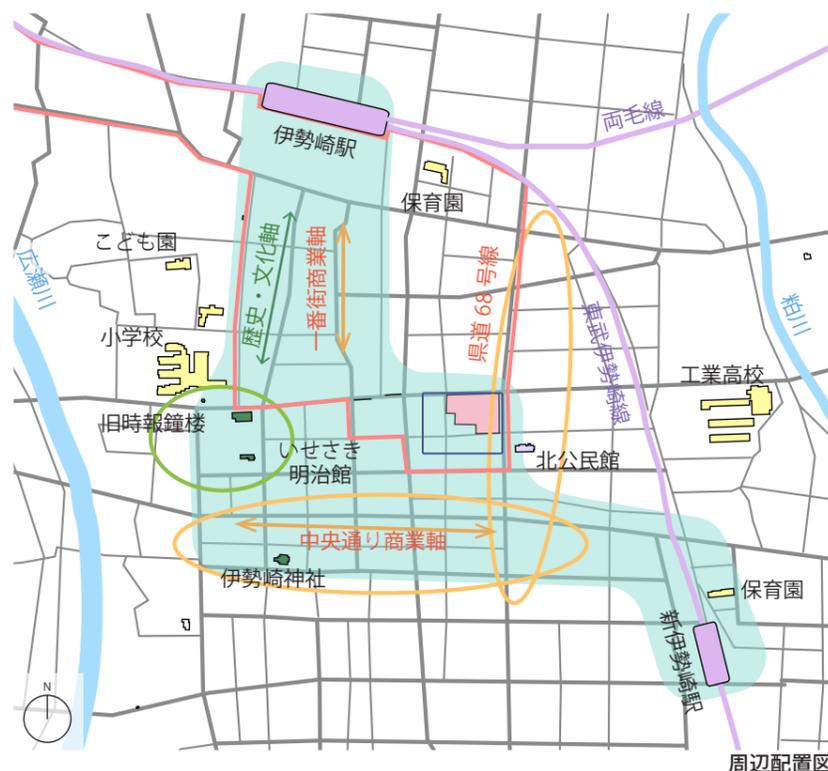
変化していく伊勢崎の拠点となる施設づくり【修景の考え方】

敷地周辺は既存の教育施設が数多く点在していることで子育てしやすい地域と言えます。また、「伊勢崎駅周辺土地区画整理事業」により新たな街へと生まれ変わる場所であり、敷地は2つの駅に挟まれ、各ゾーンが近接する位置にあります。新施設が周辺の要素をつなげる拠点になり、これからの街並み景観の指標となることを目指します。



ボリュームの操作で街並みを形成

賑わいのある東側を「商業ゾーン」、歴史・文化系資源のある西側を「歴史・文化ゾーン」と捉え、商業ゾーンは賑わいを創出させるボリューム、歴史・文化ゾーンは落ち着いたボリュームとし、ゆるやかに街並みの連続性を生み出します。



01 伊勢崎市が持つ土地の遺伝子を建築に取り込む

伊勢崎市は、上毛三山や利根川、広瀬川などの景観資源があるとともに、古墳や養蚕業で栄えた街など、さまざまな歴史・文化遺産があります。それらの要素を施設に取り入れ、市民の親しみある施設とします。【伊勢崎らしい固有の施設】

上毛三山

伊勢崎の原風景となる山々

利根川、広瀬川、粕川

伊勢崎に都市形成の養分を運ぶ川

気候・風

自然を育む長い日照時間・卓越風

華蔵寺公園

市を代表する憩いの場



養蚕業

伊勢崎を発展させた産業

伊勢崎銘仙

人々を魅了する織物

古墳

伊勢崎の歴史的資源

いせさき明治館、旧時報鐘楼等

歴史・文化を継承する建造物

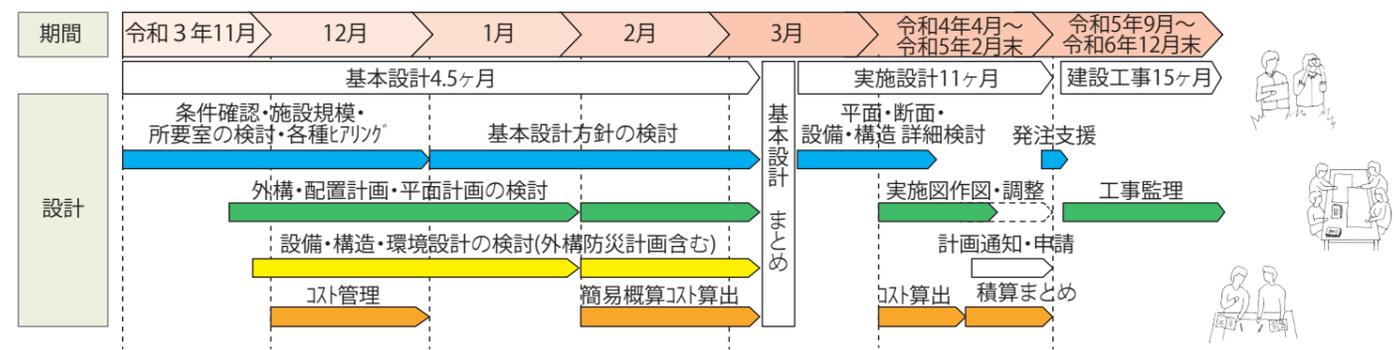
新施設に取り込む景観資源

市民に親しまれた景観資源を施設の各所に取り込むことで、伊勢崎市の魅力に触れるさまざまなシーンを生み出し、この施設を利用し続けることで、ひとりひとりの新たな心象風景をつくりだす建築を提案します。

- ・自然系景観資源を望む ———— 市民の原風景である上毛三山を望む眺望デッキ
- ・歴史・文化系景観資源へと誘導する — 伊勢崎の歴史・文化に誘導する「ミチ」
- ・新たな都市系景観資源をつくり出す — 賑わいが垣間見え、周囲の要素を取込んだ外観

新たな心象風景をつくりだす建築

03 工程計画



■敷地概要

- ・計画場所：群馬県伊勢崎市大手町 18-1
- ・敷地面積：4,868.72 m²
※仮換地並びに測量が未実施のため参考値
- ・用途地域：都市計画区域内 市街化区域 商業地域
- ・防火地域：準防火地域の指定あり

■建築概要

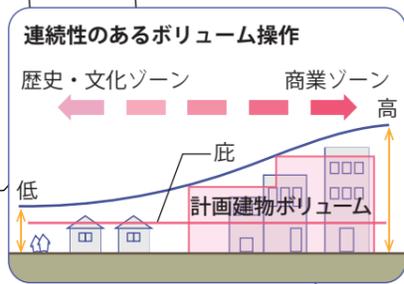
- ・階数：3階建て
- ・建築面積：2,178.20 m²
- ・延床面積：5,493.24 m² (建築基準法)
3,953.45 m² (保健センター及び子育て世代包括支援センター用途)
- ・建物構造：鉄骨造

■関係会議等

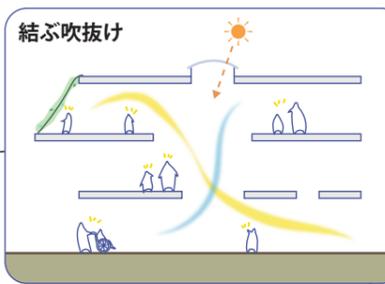
- ・(仮称) 伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターデザイン会議
基本設計期間において、各部門の有識者や市民団体の代表者等で構成されるデザイン会議を全4回開催し、市民の健康づくりと子育て支援の拠点となる施設を整備するため協議しました。
- ・ワークショップ等
実施設計期間において、関係団体、市、住民とのワークショップ、保健センター・子育て支援関係者への聞き取りを実施します。

■構造概要

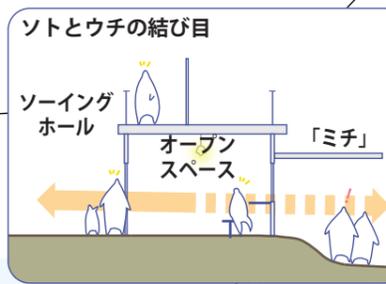
- ・3層の吹き抜けや長スパンで構成される平面の採用により、開放的な空間を創出します。なお、3階アカギデッキの床は屋上から吊り、下階に柱や梁が現れないようにすることで、吹き抜けの開放感を損なうことがないように配慮します。
- ・長スパンの柱間の大梁は格子梁を用いて床の振動を抑制します。駐車スペース部分の柱配置についても長スパンを採用し、駐車台数の確保に努めます。
- ・基礎は近隣地盤データを元に杭基礎とし、耐震性能の分類はII類とします。



敷地東側「商業ゾーン」から西側「歴史・文化ゾーン」に向けて建物のボリュームや底の調整でスケールダウンさせ、ゆるやかに街並みの連続性を生み出す計画とします。



トップライトのある3層の吹抜けは下階に光を取り込み、空間をゆるやかに結びます。気配を感じ上下のつながりを生むとともに、煙突効果を利用した効果的な換気も可能です。



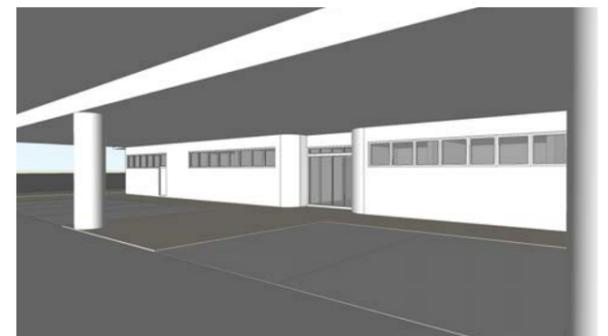
誰もが利用でき、日常的に賑わう「オープンスペース」は「ミチ」を歩く人々の目を引き付け、ソーイングホールへと誘い迎え入れるソトとウチの結び目となります。



①1階 ELV 前から吹抜けを見る



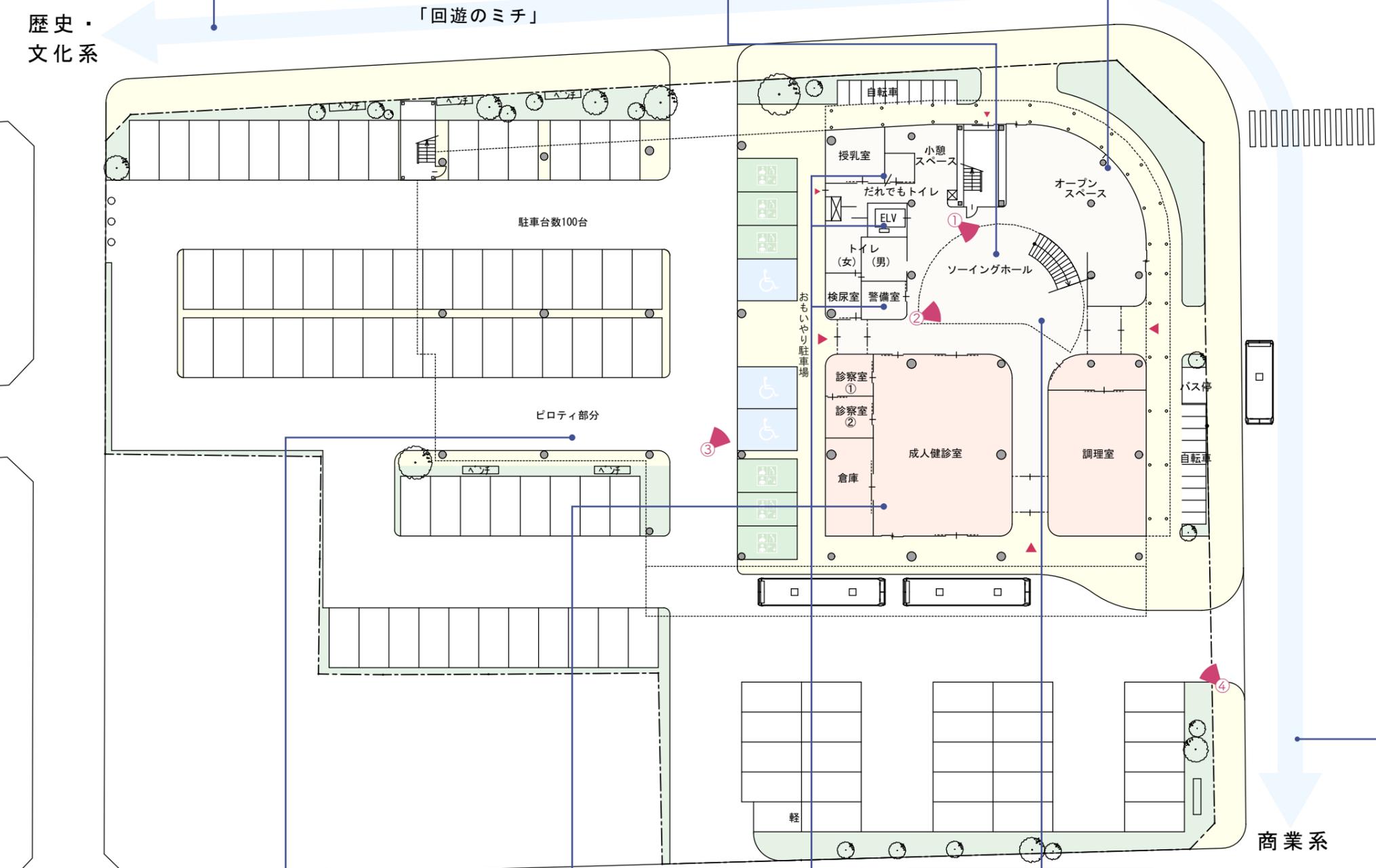
②1階西側入口から吹抜けを見る



③1階西側入口



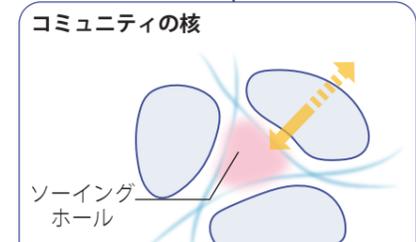
④南側外観



雨に濡れない駐車場
思いやり駐車場と一般駐車場の一部をピロティ下に配置することで、雨天時の来館者の利便性に配慮します。

成人健診室
南側に配置する検診車と一体的に機能させ、がん検診や特定健診を実施します。また、生活習慣病予防等の健康づくり事業も推進する場とします。

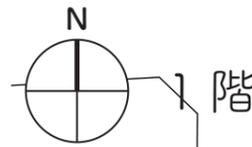
安心安全に利用
大型エレベーター、だれでもトイレ等のユニバーサルデザインへの配慮や警備室の設置により来館者が安心安全に利用できるような計画とします。



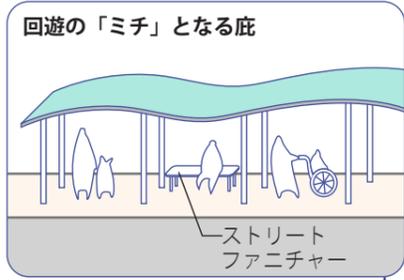
「ソーイングホール」を街に向けて開放し、情報交換等、市民間の交流が生まれる場とすることで、市民に親しまれる施設とします。



将来拡幅予定の北側道路と西側道路の交差する角地に建物を計画し、新たな人の流れを生み出すことで回遊の拠点として街の活性化に寄与する施設とします。

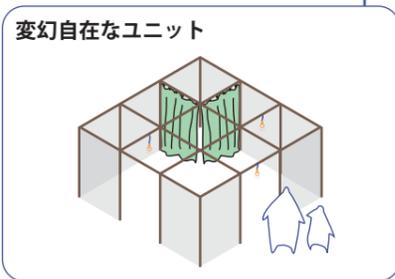
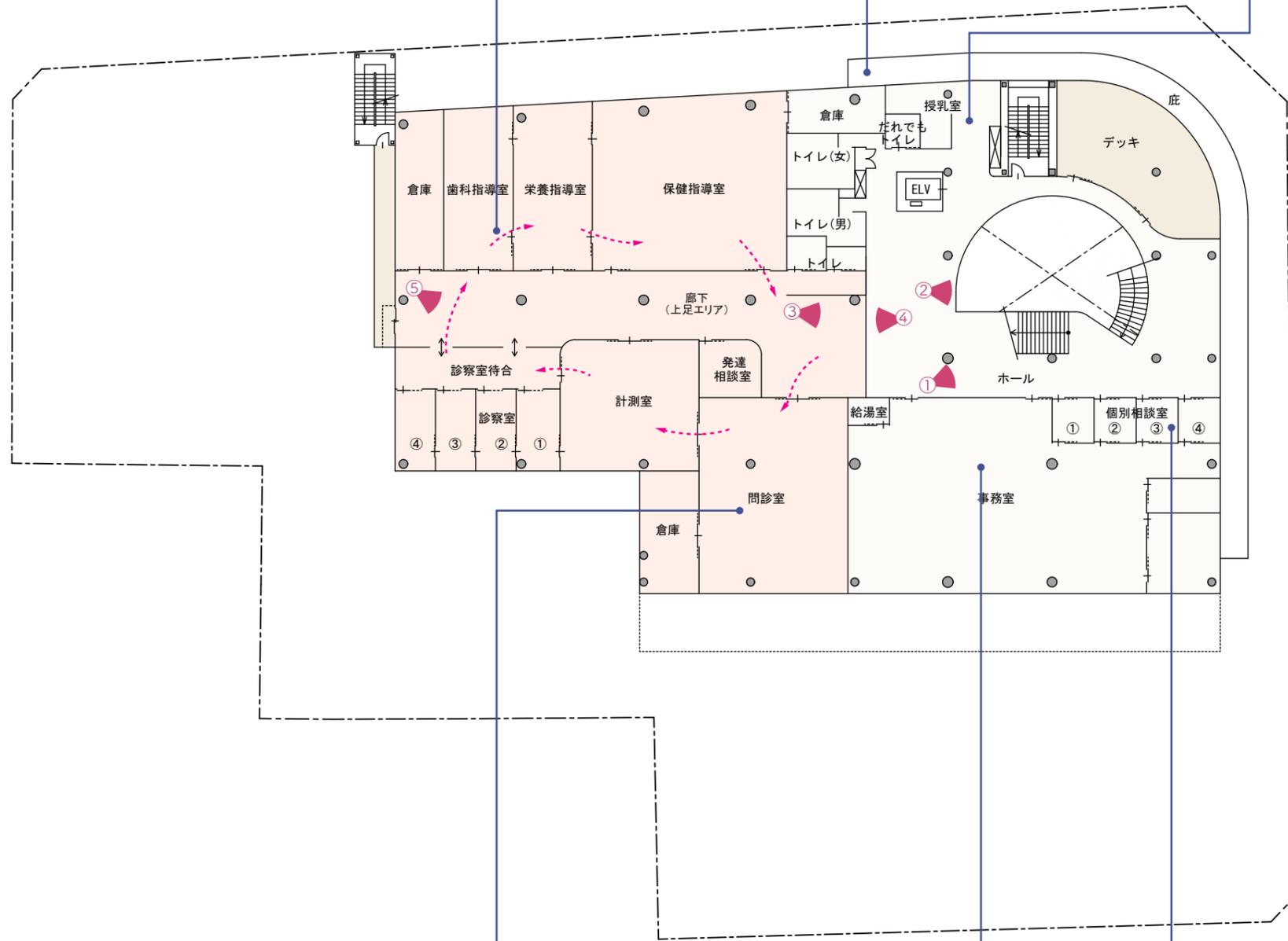


乳幼児健診に配慮
乳幼児健診の流れを考慮した室配置とすることで利用者がわかりやすく移動でき、スムーズに健診が行えるよう計画します。



北と東の道路に沿って庇を計画し、人の動きを呼び込む回遊の「ミチ」を形成します。高さは低く抑えストリートファニチャー等を設置することで、訪れる人々を迎え入れます。

授乳室
小さな子ども連れの方も安心して利用できるように各階に授乳室を設けます。



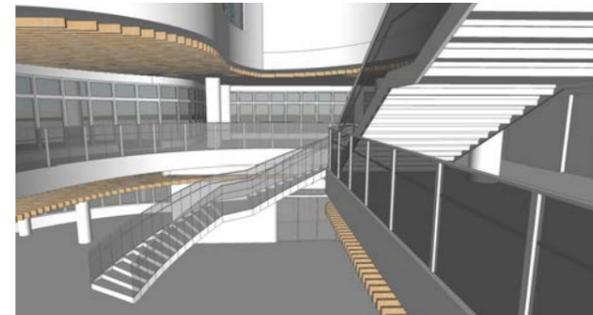
ユニット化した間仕切りにより、さまざまな広さのスペースに対応し、可变性のある空間をつくります。使用目的に合わせた機能、設備、デザインの付加が可能です。

災害時対応
災害時に、2階の事務室は健康管理の指揮所として機能します。

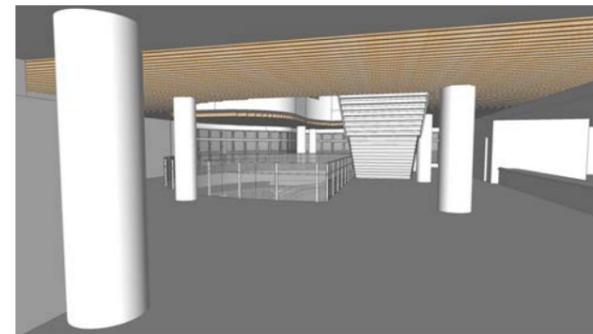
個別相談室
健康・疾病の各種申請に係る相談が気軽に安心して利用できる、プライバシーに配慮した個別相談室を設けます。



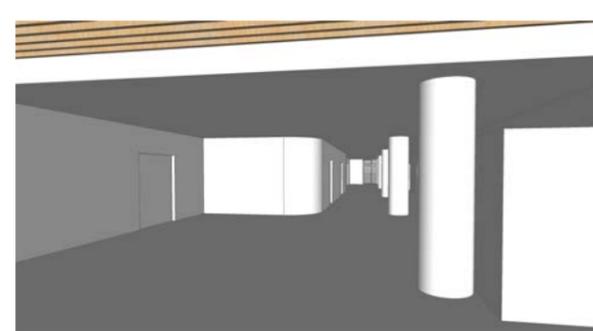
①2階事務室前からホールを見る



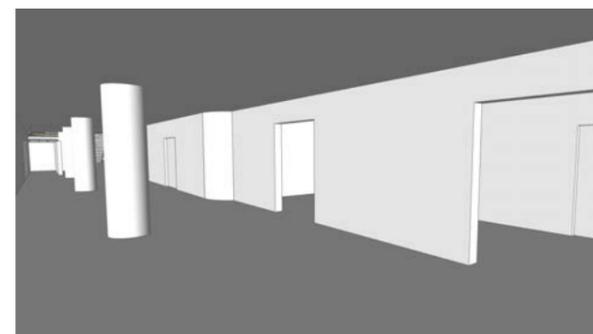
②2階ホールから吹抜けを見る



③2階上足エリアからホールを見る



④2階ホールから上足エリアを見る



⑤2階廊下から診察室待合を見る

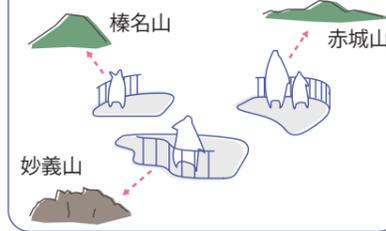
災害時対応

備蓄品倉庫を3階に配置することで、浸水被害を確実に防止する計画とします。デッキは避難時にも有効な経路として利用されます。

子育て相談室

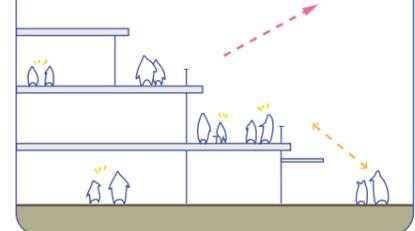
子育ての悩みが気軽に相談できるプライバシーに配慮した個室の相談室及び子どもの様子を観察できる開放的な相談室の双方を設置します。

三山デッキ

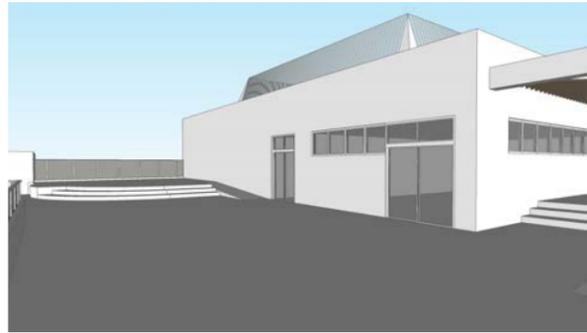


市民の原風景となる上毛三山を望めるよう3階の各方面に眺望デッキを設けます。広く回遊できる外部空間を設けることで子どもが安全にのびのびと遊べる空間を計画します。

にぎやかデッキ



建物の北東部を階ごとにセットバックさせることで交差点への圧迫感を軽減するとともに、デッキを設けイベント等の情報発信などにより街の活性化にも寄与します。



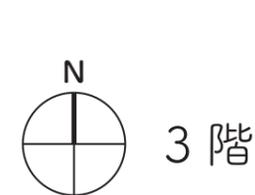
①南西側からハルナデッキを見る



②南側からミョウギデッキを見る

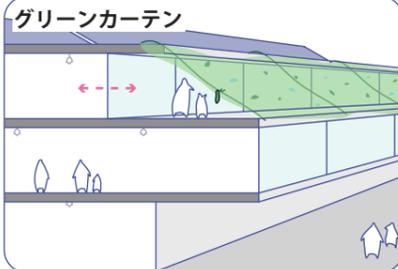


③南側鳥瞰



太陽光パネル

日照時間の長さを考慮し太陽光パネルを設置します。市の指標となる施設として再生可能エネルギーを積極的に活用します。

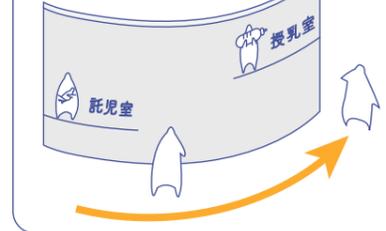


3階にグリーンカーテンを設けることで、直射日光を和らげます。

託児室

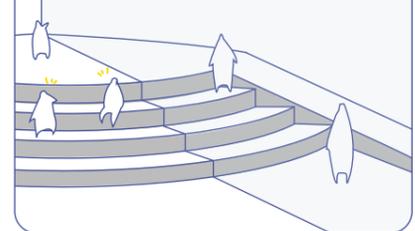
子育て中に気分転換できるよう、安心して子どもを預けられる場として、託児室を整備します。

見通しが利く壁面



子どもから高齢者までさまざまな世代が利用するため、一部の壁は曲面として見通しをよくすることで、出会いがしらの衝突を防止し、安全性に配慮した内部空間とします。

だんだんパーク



プレイルームには内外で一体感のある大階段「だんだんパーク」を設け、天候に左右されず家では味わえない遊び空間を創出します。



